

登録コード:MH412200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	精神医学Ⅱ【20M以降】 psychiatry II		
担当教員	杉山 暢宏		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻／2年生 後期 木曜・2時限		
単位数、講義室	1 単位	保健学科 2 2 1 講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	精神医学治療論の基本事項を理解し、精神科臨床の今後の課題について考察を深める。
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業		
	＜基礎的・専門的な知識と技能＞保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	精神医学治療論の基本事項を理解し、精神科臨床の今後の課題について考察を深める。
授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿		精神医学治療論の基本事項を理解し、精神科臨床の今後の課題について考察を深める。
		⇔	リハビリテーション実践における様々な精神医学的な課題に対応していくことができる。
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	すでに学習した精神医学Ⅰの基礎知識をふまえて、より踏み込んだ内容で精神科臨床の実際について幅広く学習する。 本授業は担当教員の医療機関や行政機関における精神科医としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	第1回 (10月 1日) うつ病1 (教科書 第11章) 第2回 (10月 8日) うつ病2 第3回 (10月15日) 統合失調症1 (教科書 第10章) 第4回 (10月22日) 統合失調症2 第5回 (10月29日) 自閉スペクトラム症1 (教科書 第9章) 第6回 (11月 5日) 自閉スペクトラム症2 第7回 (11月12日) 自閉スペクトラム症3 第8回 (11月19日) 虐待1 (教科書 第4章) <中間試験> 第9回 (12月 3日) 虐待2 第10回 (12月10日) ひきこもり1 (教科書 第8章) 第11回 (12月17日) ひきこもり2 第12回 (12月24日) ひきこもり3 第13回 (1月 7日) 地域における精神医療1 (教科書 第8章) 第14回 (1月14日) 地域における精神医療2 第15回 (1月21日) 総合討論とまとめ 授業アンケート 第16回 (1月28日) <期末試験>		
授業の進め方	本授業は講義資料、その他参考資料および板書に基づいて進めます。 能動学習による理解の深化を目指すために、グループワークや授業中の質疑応答にも重きを置いて、授業を展開していきます。 授業終了後に毎回レポートの提出を求めます。授業で取り上げた問題について、自分なりに考察を深めて下さい。		
テキスト、教材、参考書	教科書： 尾崎紀夫，三村將，水野雅文，村井俊哉 編集『標準精神医学 第9版』（医学書院） 参考書： 1) 滝川一廣著『子どものための精神医学』（医学書院） 2) 月子(著)，七海 仁(原著)『Shrink-精神科医ヨワイ-全17巻』（ヤングジャンプコミックス） 3) ヨンチャン(著，原著)，竹村 優作(原著)『リエゾン-こどものこころ診療所-全21巻』（モーニング KC） ※これらの参考書は医学部図書館および杉山研究室にありますので、積極的に閲覧・参照するようにしてください。		
成績評価の方法	中間試験（11月19日），期末試験（1月28日）を課す。いずれも筆記試験で行い，それぞれ50点満点とし，合計したものを最終評点とする。最終評点が60％に達しない場合に限り，積極性，適宜行う確認小テストなどを総合的に判断し，期末試験の得点に加点するが，この場合，最終評点は60％を越えない。総合的な加点を行っても評点が60％に達しない場合は「不可」とする。		

成績評価の方法	中間試験および期末試験では、精神医学の治療論の基本事項の理解度を確認し、精神科臨床の今後の課題について考察・論考できるかを問う。
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある（可）」,応用問題が解ければ「やや上にある（良）」,やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある（優）」,例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している（秀）」 これらは中間試験および期末試験において 90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可 におよそ相当する。
事前事後学習の内容	授業計画で示した毎回の授業内容に、教科書で予習・復習しておくべき箇所を指定する。 【事前学習について】 毎回授業の終わりに、次回までに調べてくるべき予習（事前学習）内容について説明を行います。 【事後学習について】 毎回、授業のはじめに、前回の授業の要点について復習（事後学習）してきた内容や、能動学習として学んできた内容についての質問を行いますので、自分なりの言葉で端的に分かりやすく説明できるように準備して授業に臨んで下さい。 本授業の単位修得には、45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋ 事前・事後の自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 ※ 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んで下さい。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	精神医学Ⅰの内容を踏まえ、さらに踏み込んだ内容で講義を行います。 正解のない問題も取り上げ、学生さん自身で考えていただく時間を多くとるつもりです。 質問への対応：オフィスアワー参照 オフィスアワー：授業のある木曜日12:10-13:00 保健学科南校舎2階杉山研究室にて対応します。 連絡、相談など：保健学科 作業療法学専攻 杉山暢宏（nsugi@shinshu-u.ac.jp）